

## 研究タイトル：日本における国土計画の政策形成過程に関する研究



氏名：	野々山和宏/NONUYAMA Kazuhiro	E-mail：	nonoyama@ship.yuge.ac.jp
職名：	准教授	学位：	修士(経済学)
所属学会・協会：	日本地理学会, 経済地理学会, 東北地理学会, 愛媛地理学会, 日本都市学会, 東北都市学会, 日本海運経済学会		
キーワード：	国土計画, 地域政策, 政策形成, 政策過程論, 海洋政策		
技術相談 提供可能技術：	・地域政策一般		

### 研究内容：

国土計画とは土地、自然、社会資本、文化、人材等によって構成される国土の望ましい姿を示す長期的、総合的、空間的な計画です。日本の国土計画は戦後、全国総合開発計画として5次にわたり策定されてきましたが、2005年の法改正により国土形成計画となりました。2008年には初めての「国土形成計画(全国計画)」が閣議決定され、翌年には全国8広域ブロックについて「広域地方計画」が公表されました。現在は、これら新たな国土形成計画の推進期と位置づけられ、さまざまな施策が展開されています。

本研究室では、この国土形成計画に何が求められ、また国土形成計画はどのような国土を創造しようとしているのかを政策過程論(計画策定過程やその実施過程等)の観点から検討しています。元来、国土計画は政府が行う公共事業に関する主要な計画という側面もあり、その策定にあたっては多くの利害関係者(ステークホルダー・アクター)からさまざまな要求がなされてきました。近年、社会情勢の変化等により国土形成計画に対する関心は従来ほど高くないと言われますが、その策定や実施に際しては多くの業界団体や関連組織から意見が寄せられています。本研究室では、これらの意見や国土形成計画の策定・実施について調査審議を行う国土審議会での議論から、国土(形成)計画の意義や意味およびそれらの変遷を考察しています。

また、本研究室は2005年の法改正により新たに国土形成計画の計画事項に加えられた「海域」も研究対象としています。旧来の国土計画が対象としていた領土とは異なり、主権が及ぶ領海のほかに限定された領域管轄権としての主権の権利を有する排他的経済水域等も含まれるこの「海域」において、国土形成計画はいかなる可能性を有するのかを検討することが研究テーマです。



(出所)国土交通省 web サイト「インターネットでみる国土計画:国土形成計画とは」(<http://www.kokudokeikaku.go.jp/plan/about.html>)

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	